

論文対策講義（管理会計論 岡本）の受講に当たって

1. 本講義の狙い

本講義は、近年の論文式試験の傾向をふまえ、どのような出題内容、難易度であっても、確実に合格点を確保するための知識の基礎を築くことを狙いとする。具体的には、「原価計算の目的」5つを源とする管理会計論の土台から出発し、各論点を横串で理解することを目標とする。

2. 受講を推奨する方

本講義は、テキストを用いたインプットに特化した解説を行うため、下記の方の受講を推奨する。

初学者または受験経験者を問わず、

- ・基礎概念の理解や体系的な理解が不足していると認識している方
- ・計算演習や論証暗記を尽くしたにもかかわらず得点が伸び悩んでいる方
- ・5月短答式試験に向け、知識の整理を行いたい方

3. 受講時期

本講義は、2023 年 12 月から開講予定であり、上記 **2. 受講を推奨する方** に該当する場合、できるだけ早い時期に受講して欲しい。その上で、論文答練及びアクセス答練（論文式）を受講すれば、これらの演習はより有効なアウトプットの機会となる。

4. 学習進度表

回数	学習内容	コメント
第1回	ガイダンス・学習方法 原価計算総論 費目別計算 製造間接費の配賦計算 部門別計算	「原価計算の目的」が各論点にどのようなつながっていくのかを解説する。 その上で、最も重要な「財務諸表作成目的」のための費目別計算、部門別計算、製品別計算の3ステップのうち、前2者を解説する。
第2回	個別原価計算 総合原価計算	製品別計算が、個別原価計算と総合原価計算に区別されている理由、またそれらの計算の背後にある理論を解説する。また、各論点の注意点を解説する。
第3回	標準原価計算	「原価管理目的」のための標準原価計算について、その前提となる考え方、また計算の背後にある理論を解説する。

第4回	直接原価計算 C V P 分析 予算管理 財務情報分析 資金管理	「予算管理目的」の出発点としての利益管理の考え方、及び貢献利益を把握することの重要性について解説する。また、財務情報分析、資金管理の基礎的な考え方、及びこれらに共通する「回転」の概念について解説する。
第5回	管理会計総論 原価管理 A B C / A B M	「管理会計」の本質を「原価計算」との対比で解説する。また、戦略的コスト・マネジメントを支援するツールである「新しい管理会計」の各論点を解説する。
第6回	業務的意思決定 設備投資意思決定	「予算管理目的」及び「基本計画設定目的」を達成するための意思決定会計について、差額原価概念を念頭に置きつつ、短期と長期の視点で区別し、期間損益とキャッシュ・フローの観点で解説する。また、各論点の注意点を解説する。
第7回	分権組織とグループ経営	事業部の業績測定、内部振替価格、企業価値・事業価値の評価の各論点について、管理会計の終着点である「経営者目線」から解説する。